

令和8年度広島県カーボンリサイクル関連技術研究開発支援業務に係る  
公募型プロポーザル選定委員会議事録（議事要旨）

項 目		内 容													
1	日 時	令和 8年 4月 9日 10時から11時まで													
2	場 所	オンライン													
3	出席委員	秋山 日登美（広島県環境県民局 環境政策課長） 崎本 龍司（広島県商工労働局 イノベーション推進チーム 地域産業デジタル化推進担当課長） 出射 太（広島県商工労働局 自動車・新産業課長） 畷 智博（広島県商工労働局 バイオ・ヘルスケア産業課長） 畠 正和（広島県商工労働局 環境・エネルギー産業課長）													
4	議 題	令和8年度広島県カーボンリサイクル関連技術研究開発支援業務に係る企画提案公募に対する民間事業者からの提案書等の審査													
5	担当部署	商工労働局 環境・エネルギー産業課													
6	開催方法	1 参集 2 持ち回り													
7	議事内容	<p>企画提案のあった提案書1件について、次のとおり審査を行い、最優秀提案者を決定した。</p> <p>1 企画提案者</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">提案者名</th> <th>代表者名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 5%;">A</td> <td style="width: 60%;">株式会社リバネス</td> <td style="width: 35%;">代表取締役社長 CCO 井上 浄</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 審査方法</p> <p>企画提案者が企画提案書を基にプレゼンテーション(15分)を行った後、質疑応答を実施。提案者退出後、公表している審査基準により評価を行い、最優秀提案者を決定した。</p> <p>3 審査の内容（A者の審査内容）</p> <p>（1）主な質疑応答 別紙「質疑応答内容」のとおり</p> <p>（2）評価結果 別紙「評価結果」のとおり</p> <p>4 選定結果</p> <p>次のとおり、最優秀提案者を決定した。</p> <p>（1）最優秀提案者</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>提案者名</th> <th>代表者名</th> <th>評価点／満点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="width: 5%;">A</td> <td style="width: 40%;">株式会社リバネス</td> <td style="width: 55%;">代表取締役社長 CCO 井上 浄 213／300</td> </tr> </tbody> </table> <p>（2）選定理由</p>		提案者名		代表者名	A	株式会社リバネス	代表取締役社長 CCO 井上 浄	提案者名	代表者名	評価点／満点	A	株式会社リバネス	代表取締役社長 CCO 井上 浄 213／300
提案者名		代表者名													
A	株式会社リバネス	代表取締役社長 CCO 井上 浄													
提案者名	代表者名	評価点／満点													
A	株式会社リバネス	代表取締役社長 CCO 井上 浄 213／300													

	<ul style="list-style-type: none"><li>・評価点が、最低基準点として設定している評価基準に基づく各評価項目の配点の合計の 100 分の 60 以上の点（180 点）を上回り、最も高い評価値を得たため。</li><li>・社会実装を見据えた具体的な支援設計に加え、当該過年度事業における実績や専門家集団としての知見、県内外の大学・研究機関やディープテック領域の企業との幅広いネットワークを生かした提案となっており、カーボンリサイクルの社会実装に向けた着実な成果創出が期待できる。</li></ul>
--	--

別紙（質疑応答内容）

質問	回答
<p>貴社は令和4年度からこの業務を受託している実績があるが、昨年度と比較して、県内企業とのマッチング支援など、改善点を教えてください。</p>	<p>研究支援イベント等でこれまで繋がりのある企業から重点的にアプローチし、地域金融機関からも案件を発掘していきたいと考えています。</p>
<p>補助対象者の進捗管理について、伴走支援方法の昨年度からの改善点や今年度新たに設定した技術成熟度点数化の趣旨を教えてください。</p>	<p>伴走支援の見直しについて、統一したチェック項目を設けることで属人化を避けることや、県とともに補助事業の趣旨を説明する機会を設定し、しっかりと理解してもらおうと考えています。</p> <p>点数化については、点数の配点基準を設定し、次のフェーズに行くためのステップを明確にしたいという考えで、採択段階でも、審査員の方にも評価を見てもらいたいと考えています。</p>
<p>今まで関わってきた中で、社会実装について優良事例を教えてください。</p> <p>研究発表会イベントの企画・運営について、15ページのところで令和7年度には有意義な機会になったとあるが、その後の展開はどうだったかを教えてください。</p>	<p>優良事例について、補助対象者A、Bが県内企業と連携して国の大型予算を獲得した事例や、若手研究者も広島県の補助金にベンチャーとして申請できないか検討するなど、着実に成果が出てきています。</p> <p>イベントについても、これまでの成果を県内企業・県民に知っていただき、関係者の関心を高め、申請につなげていく機会になっています。</p>

別紙（評価結果）

審査の項目	配点	提案者A の評価点	評価
1 遂行能力-(1) 大学研究者やスタートアップ等の支援対象について、各主体のシーズや、ニーズに対する幅広い知見を有している。	30	24	多様な研究者・スタートアップの特性を踏まえた知見を有しており、各主体のニーズに応じた柔軟な支援が期待できる。
1 遂行能力-(2) カーボンリサイクル関連技術の実証先や研究連携先、カーボンリサイクル製品・サービスのサプライチェーンとなり得る県内企業・団体等との関係性が構築できている。	30	21	スタートアップや研究者等との幅広いネットワークを有しており、過年度事業で構築した関係性も維持しているなど、提案募集を効率的に行うことが期待できる。
1 遂行能力-(3) カーボンリサイクル関連技術の研究に対し、専門性の高い人材活用や最新の動向を把握する有効な手段を有している。	30	23	自社の専門人材に加えて、ディープテック領域の大学・企業との豊富なネットワークなど、専門人材の活用や最新動向の把握手法が具体的に示されており、高度な研究支援を継続的に実施できる体制が整っている。
1 遂行能力-(4) 自社若しくは、自社の支援による外部資金獲得の実績やノウハウを有している。	30	21	国プロの獲得実績もあり、自社支援である研究費制度を通して、研究者の伴奏支援を行う体制が構築されている。
2 企画提案-(1) 具体性があり、カーボンリサイクル製品・サービスの広島県内での社会実装という目的の実現に向けて、高い効果が期待できる提案となっている。	60	44	事前説明会の実施や個別面談など社会実装までを見据えた具体的な支援設計となっており、県内企業の参画や成長につながる提案となっている。また、大型資金獲得につながる事例を創出するなど、社会実装に向けて着実に進んでいる具体的な事例を有しており、伴走支援の効果が期待できる。
2 企画提案-(2) 「広島県がカーボンリサイクルの研究拠点である」というブランド価値の向上や、広島県内へのカーボンリサイクルという新たな産業の集積につながるイベント活動が提案されている。	60	40	過年度の参加者要望を受けたプログラムにするなど工夫が見られ、新たな参画により集積に繋がることが期待される。また、イベントを通じて事業化に向けたマッチングを促進する仕掛けなど、次の動きにつながる企画があると、よりよい成果になると考えられる。
3 実施体制等 スタッフの配置や従事時間等の業務実施体制が適切で、実施スケジュールにも無理がない内容となっている。経費の積算が適切である。	60	40	
合 計 点 数	300	213	【総括意見】社会実装を見据えた具体的な支援設計に加え、当該事業における実績や専門家集団としての知見、県内外の大学・研究機関やディープテック領域の企業との幅広いネットワークを生かした提案となっており、カーボンリサイクルの社会実装に向けた着実な成果創出が見込まれる。